



▲多久市総合運動場アーチェリー場で行われた弓道大会

林口慶亮さんが優勝 みなさんも弓道にぜひ興味を！ ―第1回孔子の里 弓道大会―

多久市弓道連盟は4月18日、創設11年を記念して『孔子の里弓道大会』を行いました。多久聖廟釈菜を奉祝した初大会で、小城高校3年の林口慶亮さんが6中の成績で優勝を射止めました。参加したのは、多久市内と近隣の愛好者や高校生など67人。28m先にある直径36cmの的に各自8射を行い、「あたり」（的中数）を競う個人戦が行われました。白筒袖、黒袴、白足袋姿の競技者は、畳の上に立つと、射法八節の動作を基本に、競技に集中し、日頃の練習の成果を發揮していました。

弓道は、「礼に始まり、礼に終る」と言われる心身鍛錬の武道・スポーツ。連盟では「弓道は、孔子様の人間形成の教えを理念としており、孔子の里と称している多久で広く定着させたく、みなさんにも興味を持ってほしい。アーチェリー場で練習していますので、まずは見学にどうぞ」と、初心者も歓迎されています。

今大会の入賞者は次のとおりです。
(敬称略)

優勝	林口 慶亮 (小城高校)
2位	荒久田美幸 (厳木高校)
3位	北原 和哉 (厳木高校)
4位	片瀬 勉 (江北町)
5位	森永まどか (小城高校)
6位	野田 吾良 (多久市)
7位	石川 靖幸 (多久市)



市長のWindow

▼市民のみなさんへ

多久に「のど自慢」がやってきた

いやいや感動でした。はじめはゆっくりで、後半は一気に盛り上がったという感じで、事務局役も大奮闘でした。

そもそもは多久聖廟創建三百年記念行事の一つとして多久市を全国発信したいの思いからでした。でも最初は厳しかった。「再来年に」と申込むと「来年ではないの」と問い正され、「創建三百年の年度に」とお願いしました。最初の関門は会場です。大人数収容が必要です。学校の新体育館だと提案すると「学校は問題かも」とのこと。よくよく尋ねると他所で「孫が勉強できない」の苦情あったらしく、春休み開催を提案。

次は、広いステージ設営の課題。「もし事前に大きさが分かっていたら、そのように建設したのに」とまで伝え、必要な措置は対応する決意を示しました。そこから両者本気になったのです。ライト設営等、ひとつひとつ準備を積み上げました。

次は参加者です。「予選は普通 250組」との情報を知り、せめて300位は応募をと思ったら、予想を超える717組の出場希望でした。そこから250組が選考され、本番前日の予選会に出場。13時頃から17時過ぎまで歌うも大変ですが、演奏も大変だと感心しました。「ありがとうございました」の音声が流れる間の40秒間は、多彩な演出と歌声披露でした。その様子はNHK佐賀とCATVでも放映されました。

20組が出場した本番は、瀬川瑛子さんと西方裕之さんをゲストに徳田章アナウンサーの軽妙な司会でオンエアされました。「楽しかった」「故郷多久を応援した」と連絡が続々。

これもきっかけに、さらに多久を発信しましょう。(俊彦)

市長コラム

市長交際費支出状況

▼平成20年度3月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	4	20,000
	累計	88	299,875
見舞い	今月分	0	0
	累計	6	60,000
御祝	今月分	2	20,000
	累計	45	240,105
賛助	今月分	1	5,000
	累計	9	52,000
激励金	今月分	0	0
	累計	1	20,000
接遇	今月分	0	0
	累計	68	165,630
会費	今月分	1	3,000
	累計	27	121,000
その他	今月分	1	5,250
	累計	7	32,510
合計	今月分	9	53,250
	累計	251	991,120

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115